

Jアラート対応マニュアル

高知県立山田特別支援学校

令和2年4月1日策定

○ Jアラートで配信される情報

Jアラートで配信する25情報のうち、**11情報**については、原則として、市町村防災行政無線（同報系）等を自動起動させる設定にされている。

区分の凡例

◎：同報無線等を自動起動するもの

○：市町村の設定により同報無線等を自動起動

△：同報無線等を自動起動させないもの

情報の種別			区分	情報の種別			区分
1	弾道ミサイル情報	◎	14	震度速報			○
2	航空攻撃情報	◎	15	津波注意報			○
3	ゲリラ・特殊部隊攻撃情報	◎	16	噴火警報(火口周辺)			○
4	大規模テロ情報	◎	17	気象等の警報			○
5	その他の国民保護情報	◎	18	土砂災害警戒情報			○
6	緊急地震速報	◎	19	竜巻注意情報			○
7	大津波警報	◎	20	記録的短時間大雨情報			△
8	津波警報	◎	21	指定河川洪水予報			△
9	噴火警報(居住地域)	◎	22	東海地震に関連する調査情報			△
10	噴火速報	◎	23	震源・震度に関する情報			△
11	気象等の特別警報	◎	24	噴火予報			△
12	東海地震予知情報	○	25	気象等の注意報			△
13	東海地震注意情報	○					

・配信される情報の1～5については次ページの避難行動・避難体制をとる。1～5以外について

は、従来の避難行動と同じ、ダンゴムシの姿勢や机の下にもぐるなどの姿勢をとる。

全国瞬時警報システム（J アラート）発令（25 情報）

児童生徒はそれぞれの場所で避難行動をとる。

●校内にいる場合（１～５）
食堂へ避難し、窓から離れ
中央で身を守る態勢をとる

●校外にいる場合
頑丈な建物もしくは地下に
避難し、身を守る態勢をとる

●校内にいる場合（１～５以外）
・机の下にもぐる
・２階以上へ避難する
・教室待機などの避難行動をとる

●別棟で授業をしている場合
部屋（教室）の中央に集まり
（窓から離れて）身を守る態勢をとる



※化学剤、生物剤、核物質など、弾頭の種類によっては避難場所の密閉性を確保するため、学校は避難場所である食堂に窓に目張りするためのガムテープ等を必要量整備し、食堂内に保管しておく。

※ J アラート（１～５）の場合、避難場所へ避難後は先着の者がただちに窓枠へ目張りをする事。